

大阪市立 加美東小学校



住所 〒547-0002 大阪市平野区加美東 5-9-25
連絡先 ☎ 06-6793-0725 ☎ 06-6793-4175
校長 濱澤 和之 **開校** 昭和 52 年度
URL <https://swa.city-osaka.ed.jp/e751741>

教育目標

「たくましい子 なかよくする子 かんがえる子」

重点目標

知的好奇心に満ち、豊かな心で学びや育ちを志向する子どもたちを育てる。

教育方針

豊かな心で互いに認めあい、よりよい学級・学校を築いていこうとする子どもたちを育てる。

運営に関する計画

【概要】

本校の学校教育目標には、「子どもたちが人と人とのつながりを大切に、夢や希望を持って力強く生き抜いて欲しい」という開校以来の願いが込められています。この目標を達成するために、子どもたちの「基礎・基本の学力の向上を図る」とともに、「知的好奇心を高め、より豊かに生きる」ことができるように学校総がかりで教育活動に取り組んでいます。また、その土台となる「健全で前向きな人間関係の育成」や「コミュニケーション力の向上」、さらに「学んだことを活用していく力」等も育てていくよう努めています。

【中期目標】

【取組内容：安全・安心な教育の推進】

学校アンケートの「安全で安心できる学校」にかかわるすべての項目において、肯定的回答の割合を令和11年度末までに90%以上にする。

【取組内容：未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校アンケートの「知的好奇心を高める授業や取り組みをすすめ、多様化する社会を生き抜く力を育成する」にかかわるすべての項目において、肯定的回答の割合を令和11年度末までに90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

学校アンケートの「教育の充実」にかかわるすべての項目において、肯定的回答の割合を令和11年度末までに90%以上にする。

【年度目標】

【取組内容：安全・安心な教育の推進、学びを支える教育環境の充実】

- ・互いを認め合い、より良い集団をめざす子どもを育てる。
- ・子どもたちが健やかに成長できる教育環境を整備し、活用を図る。
- ・人権教育の推進とキャリア教育の充実を図り、自己肯定感・自己有用感のある子どもを育てる。

【取組内容：未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・知的好奇心を高める授業や取り組みをすすめるとともに、国語力を向上させる。
- ・グループ活動を積極的に取り入れた体育科の授業展開を工夫し、友だちと一緒に活動したり運動したりすることで楽しさを味わわせ、運動に対する意欲を高める。自分の身体や健康に対する意識を高める。

【取組内容：学びを支える教育環境の充実】

- ・人材の確保・育成と柔軟な組織づくりに努めるとともに、教職員の働き方改革を推進する。
- ・日常的に子どもたちがICTを主体的に活用し、多様な情報を選択・活用しながら情報活用能力を高めるとともに、子どもたちの表現力や学びに対する育成につなげる。

校長先生からのメッセージ

本校は、昭和52年4月に開校以来、今年で創立50周年を迎えます。本校には40周年時に当時の教職員、PTA、地域の方々が子どもたちに思いを込めて作成した副読本「わたしたちの町 加美東」があります。このたび、50周年を記念して新しくリニューアルされます。本校は、「知的好奇心を高め自主的に学ぼうとする意欲や態度」を養っていこうと全教職員一丸となって取り組んでいます。この数年で校内の環境整備が進みました。他の小学校にはないまったく「新しい発想でつくった図書館」は、子どもたちに大人気です。中庭にある「アウトドア学習室」は、放課後、子どもたちが中庭で額を寄せ合って学習することができ、微笑ましい光景があります。「トイレ」は、低学年でも入りやすいように改装しました。宇宙や世界をイメージ、自然を豊かに感じられる、落ち着いた雰囲気的美術館風、世界の景色を車窓から望むなどさまざまなテーマ別のトイレがあります。このように子ども目線で楽しい学校になるように施設面での生活学習環境を整備し、「知的好奇心を高める授業」の実現をめざして日々取り組んでいます。明年令和9年度には新しい講堂が完成する予定です。子どもたちには「入学してよかった」「この学校で友だちと勉強をしたい」と魅力を感じてもらえる「笑顔あふれる楽しい学校」をめざしてまいります。どうぞよろしくおねがいします。

校長 濱澤 和之

R7年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	理科
69	60	55

●結果と概要／

国語科の平均正答率は69%で、全国の平均(66.8%)と比較して2.2ポイント、大阪府の平均(65%)と比較して4.0ポイント上回っている。算数科の平均正答率は60%で、全国の平均・大阪府平均の(58.0%)と比較して2.0ポイント上回っている。理科の平均正答率は55%で、全国の平均(57.1%)と比較して2.1ポイント下回っており、大阪府の平均(55%)と同等であった。

学校全体として落ち着いた学習環境となっており、また、意欲的に学習活動に取り組む児童が多く、学力については、ここ数年で大阪府平均や全国平均を上回る傾向がみられ、学習の定着がみられるようになってきている。

平均正答率(%)

●取組の成果と課題／

〔国語〕 全体の平均正答率、学習指導要領の内容「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」「(2)情報の扱い方に関する事項」「A話すこと・聞くこと」「C読むこと」で全国平均を上回ることができた。また、本校の課題であった「書くこと」の領域については、大阪府平均は1.8ポイント上回ったが、全国平均より0.6ポイント下回っている。「(3)我が国の言語文化に関する事項」とでは、昨年度に引き続き大阪市平均と全国平均共に下回っており、引き続き本校における国語科の課題であることが明らかになった。

〔算数〕 「A数と計算」「B図形」「C測定」「C変化と関係」「Dデータの活用」のすべての領域において、正答率が大阪府平均・全国平均共に上回ることができた。一方、「思考・判断・表現」について7問中3問が大阪市平均・全国平均を下回る結果となっており、本校の算数科の課題であることが明らかになった。自分の考えを図や表等を使って可視化する活動や自分の考えを言語化する活動を通して思考・判断・表現する力が向上するよう指導の充実を図っていく必要がある。

〔理科〕 「生命」を柱とする領域については、全国平均・大阪市平均共に上回ることができた。しかし、「エネルギー」を柱とする領域と「粒子」を柱とする領域においては、全国平均と比べて差が大きくなっている問題が複数あった。電気の回路や水の性質など実験で得た結果を問題の視点で分析して解釈することにも課題がある。

R7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	15.13	20.32	28.17	31.10	46.58	9.28	164.74	21.58	50.90
女子	13.70	19.33	33.05	31.50	34.86	9.92	146.57	12.90	51.53

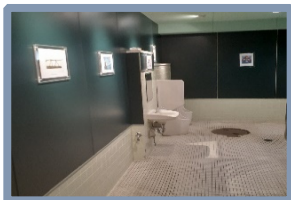
●結果と概要／

男子は8種目中4種目(上体起こし・50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げ)において大阪市・全国平均を上回ることができた。また、20mシャトルランは大阪市平均を上回っている。女子は2種目(上体起こし・立ち幅とび)大阪市・全国平均を上回ることができた。また、ソフトボール投げは大阪市平均を上回っている。男女共に立ち幅とびで大きく上回ることができた。体力合計点において、男女共に大阪市・全国平均を下回っている。「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答に関して、肯定的な回答を示した割合は男子が100%(大阪市93.5%・全国93.4%)、女子が80%(大阪市85%・全国85.8%)であった。1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒は、男子6.7%(大阪市11.7%・全国99.8%)、女子5.0%(大阪市20.0%・全国17.3%)であった。

●取組の成果と課題／

これまで、「運動やスポーツをすることが好きだ」と思える児童が増えるよう、次のような取り組みを進めてきた。①グループ活動を積極的に取り入れた体育科の授業展開の工夫。②休み時間に教員と児童と一緒に遊ぶことを意識的に行う。③全校児童参加のかけあし週間やなわとび週間、集会活動の中で運動に対する意欲を向上させる取り組みの実施。これらを実践していくことで、学校アンケートの結果では「体を動かすことやスポーツをすることは好きですか」の質問項目において、肯定的な回答が88.8%であった。これは一定の成果といえる。一方で、今回の運動能力調査において体力や運動技術の低下が課題であることが分かった。運動に関して、楽しむことは好きだが、上達しようとする意欲は少ないと感じられる。今後は教員研修を通じて指導力の向上を図り、運動に親しみながら継続して取り組み、運動技術を向上できるよう指導の工夫を図っていく。

学校の特徴



落ち着いた美術館風トイレ



本を手にとりたくなるような図書室



アウトドア学習室としての中庭

遺跡資料館のある学校

本校には、「加美遺跡資料館」という、全国的にも珍しい施設が設置されています。弥生時代、本校の校地一帯には大きな集落が点在していました。本校建設時に発掘された多くの貴重な遺物や、そのレプリカ等が遺跡資料館に展示されています。ときおり遠隔地からも見学者が訪れることもあります。

本校では、歴史学習等で資料館を活用して、壮大な歴史について思いを馳せたり、郷土愛を育んだりする機会を設けています。



本に親しみ環境づくり

子どもたちが本に親しみやすい環境をつくるため、本校では様々な取り組みをしています。

1つ目は、「図書室の環境整備」です。子どもたちが読みたくなるような本を購入し、本を読みやすいように並べたり、本の紹介文を書いて掲示したりするなど、様々な工夫をしています。また、子どもたちにとって魅力的な図書室にしようと改装を行いました。子どもたちからは、「とても綺麗になった」「図書室でずっと本を読んでいたい」など、うれしい感想の声がかかります。

2つ目は、学校司書の方や図書委員会の児童が休み時間に図書室を開放しています。子どもたちが本に親しむ活動の充実が図られています。

3つ目は、平野区が推奨する「ひらちゃん読書ノート」の活用です。ノートを使ってさらに読書への意欲を高めようとしています。



子ども達の情操を豊かに育む学校施設

中庭には、「アウトドア学習室」として、大きなテーブルと椅子が設けられ、休み時間や放課後に子どもたちが読書や宿題をしています。また、各階のトイレを魅力あるトイレに大改修しました。



地域とともに子どもを育む

本校では、地域の方々による子どもたちの健全育成活動が活発におこなわれています。老人会を中心とした登下校時の「見守り隊」の活動により、子どもたちの安全が守られています。また地域が主催の「サマーフェスティバル」や「餅つき大会」などを実施し、子どもたちは楽しく活動しています。

